



空気くうきでっぼうは、どうしてポンポン音おとがするの

空気くうきはおしちぢめられる

空気くうきでっぼうに玉たまを入れ、それをおしぼうおしぼうで先さきまでおして、前玉まえたまにします。次つぎに、もう1つ玉たまを入れて、後玉あとたまにします。おしぼうで後玉あとたまをおしていくと、つつつつの中の前玉まえたまと後玉あとたまの間にある空気くうきが、おしちぢめられます。

おしちぢめられた空気くうきは、もとの体積たいせきにもどろうとします。後玉あとたまのほうは、おしぼうでおされているので、空気くうきがもとの体積たいせきにもどろうとする力は、前玉まえたまをおします。すると、前玉まえたまが飛びます。

空気くうきでっぼうは、おしちぢめられた空気くうきが、もとの体積たいせきにもどろうとする、はたらきりようを利用したものです。

いきおいよくおすと音おとがする

空気くうきでっぼうの後玉あとたまをいきおいよくおすと、つつつつの中の空気くうきが、いっきにおしちぢめられるので、ポンという音おとがして玉たまが飛びます。いくつもの空気くうきでっぼうを、次々つぎつぎに飛ばすと、ポンポン音おとがします。（監修・小川 格）

